

教育改革にのぞむもの一言

堀合 文子

教育改革が最近いろいろな形で考えられています。私など関心は示しても、それに対してとやかくもの申す事はできず、又その資格もありませんが、改革が考えられるこの機会に現場の声の一つとして聞いていただきたいと思えます。

○最近の幼児は成長が早い。昔の幼児より一年はちがう。

こうゆう言葉はよく聞くし、そのために、義務教育を一年さげるなどの事まで言われてしまっています。たしかに体は大きくなり、話をする、積極的だし、内容もわかったような事を話しています。しかし、現場の幼児をみて下さい”と叫びたいのが現場からの声だと思いま

す。

表面をみただけでは確かに成長が早いように見えますが、現場の我々が毎日幼児と生活してみると決して成長が早いとは思いません。社会状況が刻々と変化している中で生を受けて三年、四年の間に、目から耳から外側からはいる事は大変多く、殆んど彼らの人生はその氾濫です。外側からの成長はしても核家族のため内面的な成長は大変乏しく、成長していませんので、新入園児を受け入れた時にはその内面に個々が持てる、独特の能力は蔭をひそめていますし、特にこれから一番大切な内面的、精神的なものは、全くと言っていいくらい成長していません。

幼稚園や保育園の生活をするために、いろいろと経験していく上には、いえ人生のためにも、何といってもこの内面的な成長が基礎になります。この所を教育しておかないとその上にいくらよき教育をされてもこれは上塗りにすぎず、はげてしまう時がきます。でこの内面の成長のためには、教えこんでできるわけでもなく、幼児と

教師が生活を共にしながら、幼児も又自分たちの生活と十分に生活しながら成長してゆくのでこれには一年も又それ以上もかかります。

今までの人たちは家庭でその点完全でなくても成長の方向にむけていたので幼児教育としても経験をしつつ、更にはばすことができたのが、幼稚園で基のところを引だすだけに時間がかかり経験し伸張させる所までゆかず、そのためには一年かゝり、逆に一年延長したいと思うのが今の幼児教育です。

表面の発達のみをみてそこへ文字教育などはもつての外です。この点就学を下げるなど現場では考えられないことです。

○教師が幼児教育にはものを言います。

これは幼児教育ばかりではない事で何はともあれ、先生がよき先生でなければいけないのは言うまでもありませんが、特に、前述のような幼児期の現状なので、特に

先生の姿をみて成長してゆく幼児には、理屈でない大切な教育がそこにあります。それが戦後の養成は学問が進歩というか重要視され、違った意味の立派な先生が養成され、理屈の上ばかりで理論的と言われ立派なようにみえても、決して幼児の教育にはプラスになる事はあまりありません。

「心」はどこへ言ったのかと思うような、何か理屈の尺度ではかり計る先生が多く、いくらよい事を知っても、解っても、幼児には通じなく、先生自身も苦勞し、根本的にどうしても先生も理解できなく、幼児も成長せず、何の教育もできてないのが幼児教育の現状のようにみうけます。

大学卒もよいですし、幼児教育者はすべて最高のものを修めるのが本当です。しかしみんな中途半端な教育が邪魔しているようにみえます。これは先生がわるいのではなく、戦後改革された教員養成のカリキュラムが悪いのではないかと考えられます。又制度自体もずさんの様で唯、単位をとれる、とれるものはとっておこ

うなど、そこには人を教育するという真剣さがありません。免許状のある人は自分の希望でなくても一時増加した幼稚園施設は他の就職はできなくても幼稚園へは就職できた人救いのような職場に変わり、その為、どんどん先生の質の低下、学問があっても質の低下です。これがどんなに幼児教育にマイナスの影響をもたらしたか、今大きな大きなマイナスがでていっているのではないのでしょうか。

もっと本当の頭のよい、幼児教育者としてふさわしい先生を、カリキュラムを養成してほしいと思います。養成のカリキュラムから緻密に考えなおしてほしいものです。

安易な免許取得が一番禁物ではないでしょうか。

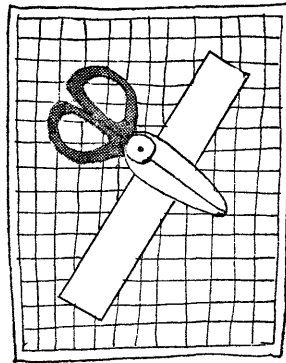
○幼児教育者には小学校教育者が停年又はその他で移行しないでいただきたい。

幼稚園は独得のものがあり、幼稚園の先生が小学校へ

移行するのはよくても逆はよくありませんが、これが世の中に大変多い状態で、特に上司にいたゞいた時の現場の苦勞、不理解がどんなに幼児教育にマイナスを作っているでしょうか。この点も政治的規約に考慮してほしいところです。

以上、一端で、困っているところがちがうかもしれませんが、せんが一現場職員の希望であり幼児教育の将来をうれうる一人として、現場の末端の状態を見、我々がうれうてもうれうても手のとどかない所は政治的考慮により一番学校教育で大切なこの時期の教育を慎重に考えていただきたいと思ひます。

(お茶の水女子大学附属幼稚園)



RIE